

募集

中山義秀記念作文 コンクール

自分の思いや考えを作文にしてみませんか。

●応募対象 市内にお住まいの方で、市外の学校に通っている小・中学生（市内の小・中学生には、学校を通して募集します）

●応募期限 1月15日(水)まで
※募集要項は市立図書館サービスデスクにあります。
●応募・問い合わせ先 市立

自衛官候補生

防衛省では、自衛官候補生を募集します。

受験資格、制度や勤務内容など、詳しくはお問い合わせください。

●試験種目 筆記試験（国語、数学、社会、作文）、適正検査、口述試験、身体検査
●試験日・会場 ①1月25日（土）陸上自衛隊郡山駐屯地（郡山市大槻町） ②1月26日（日）陸上自衛隊福島駐屯地（福島市荒井） ※①、②のいずれかの日
●申込期限 1月17日(金)まで
●申し込み・問い合わせ先 自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所 ☎④0372

案内

工業統計調査

経済産業省では、12月から1月にかけて「工業統計調査」を実施します。
この調査は、12月31日現在

図書館 ☎③3250

の国内における工業（製造業）の実態を明らかにすることを目的としています。調査の結果は、産業政策や中小企業政策など、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料となるほか、経済白書や中小企業白書などの経済分析と各種経済指標に利用されます。

告時に手帳を提示することにより控除が受けられます）
なお、これまでに障がい者控除対象者の認定を受けた方で、状態に変化がない場合は、認定書を引き続き使用することができます。

要介護認定者の障がい者控除・医療費控除

12月中旬から、統計調査員が対象事業所を訪問します。調査へのご協力をお願いします。

また、新規の方で、平成25年分の所得申告に使用する場合は、平成25年12月31日の現況をもとに判定しますので、認定書の交付は1月以降となります。

●本庁舎企画政策課 内2327

《おむつ代の医療費控除》
おむつ代の医療費控除を受けるのが2年目以降の介護保険要介護認定者で、一定の要件を満たしている方は、医師が発行する「おむつ使用証明書」の代わりに、市が発行する「認定書」で医療費控除が受けられますので、介護保険被保険者証を持参のうえ、申請してください。

要介護認定者の障がい者控除・医療費控除

《障がい者控除》
65歳以上の介護要介護認定者で、一定の要件を満たす方は、「障害者控除対象者認定書」の交付を受けることで、所得申告の際に障がい者または特別障がい者の控除が受けられます。

なお、事務手続き上、当日交付できない場合がありますので、ご了承ください。

●主な要件 ①65歳以上の介護保険要介護認定を受けている方 ②身体障がい者手帳または療育手帳を有していない方（手帳をお持ちの方は、申

●本庁舎高齢福祉課 内2725 / 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎③2114 大信 ☎④2114 東 ☎④2116

奨学資金・大学入学一時金

「白河市奨学資金・大学入学一時金」の申請を、次により受け付けます。

《奨学資金貸与》

●資格 次のすべてに該当する方

- ①平成26年度に高等学校、高等専門学校、大学および専修学校に進学を希望している方 または在学している方
- ②市内に引き続き1年以上住所を有している方（進学を目的として市外に住所を移転している場合は、住所を移転するまで引き続き1年間以上市内に住所を有していた方）
- ③経済的な理由で就学が困難

な方

④市内に在住し、独立の生計を営んでいる連帯保証人が2人いること（そのうち1人は保護者またはこれに代わる方）

●貸与月額（無利息） ①高等学校・高等専門学校生 2万円 ②専修学校生（専門課程で修業年限2年以上） 3万円 ③大学生 4万円

《奨学資金給付（白河市ガソリン給）》

●資格 次のすべてに該当する方

- ①平成26年4月に大学に入学する予定の方
- ②市内に3年以上住所を有している方
- ③品行方正で、学習意欲が高く、学業成績が特に優秀な方が困難な方
- ④経済的な理由で学資の負担が困難な方
- ⑤世帯に市税等の滞納がない方
- ⑥国または他の団体から給付型の奨学金を受けていない方

●支給月額 ①文系学部 3万円 ②理系学部 3万円
●支給期間 ①文系学部 在籍する学生 3万円 ②理系学部 在籍する学生 5万円

●募集人数 各学部2人以内
《大学入学一時金貸与》
●資格 次のすべてに該当する方
①平成26年度、大学へ進学を希望している生徒・学生の保護者
②市内に3年以上居住している方
③前年の所得が450万円（市で定める基準額控除後の所得）以下の方
④市内に在住し、独立の生計を営んでいる連帯保証人が2人いること
●貸与額（無利息） 70万円以内 ※医師・歯科医師の課程は100万円以内
●共通事項 ① 申込期間 12月16日(月)～1月31日(金)
●申し込み・問い合わせ先 ①本庁舎教育総務課 内2351 / 各庁舎教育振興課 表郷 ☎③4782 大信 ☎④3975 東 ☎④3146

付します。この名簿に登録されていないと、農業委員の選挙などができなくなりますので、必ず提出してください。
●該当者 ①市内に住所を有する20歳以上（平成6年3月31日以前の生まれ）の方
②10アール以上耕作している方、または同居している家族の方で、年間60日以上農業に従事している方
●提出期限 1月10日(金)まで
●農業委員会事務局 内2242
●日時 12月26日(木)／午後2時～3時30分 ※受付は午後1時45分から
●会場 中央保健センター（北中川原）
●内容 ▽講演 「高血圧予防のための生活習慣について」
▽講師 いがらし内科クリニック院長 五十嵐盛雄氏
●持参品 健康診断結果（お持ちの方）、筆記用具
※詳しくはお問い合わせください。
●健康増進課（中央保健センター） ☎⑦2112

高血圧予防講演会

農業委員選挙人名簿への 掲載申請書の提出

農業委員会では、農業委員選挙人名簿の掲載申請書を配

年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

12月10日(火)～1月7日(火)

- 《運動スローガン》
光ります ルールとマナーと 反射材
- 《運動の基本》
高齢者の交通事故防止
- 《運動の重点》
①夕暮れ時と夜間の交通事故防止
②飲酒運転の根絶
③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
●本庁舎生活環境課 内2162

案内

笑って健康いきいき講座

笑いとは健康の関係について講演を行います。

●日時 12月21日(土)／午後1時30分～3時

●会場 中央保健センター(北中川原)

●内容 ▽講演「笑って健康、ストレス解消！認知症予防！」

▽講師 県立医科大学放射線医学県民健康管理センター疫学部門教授 大平哲也氏

●申し込み・問い合わせ先 12月19日(木)まで

健康増進課(中央保健センター)

☎2112

まちかど伝言板

クラシックコンサート

●日時 12月14日(土)／午後4時から

●会場 鹿島ガーデンヴィラ(北中川原)

●出演者 荒庸子氏、井上美江子氏、プレジール交響楽団、白河女声合唱団

●入場料 ▽一般 前売2、000円(当日500円増)

▽中学生・高校生 無料

※入場整理券が必要です。詳しくはお問い合わせください。

財立教志塾 ☎1427

クリスマスおはなし会

おはなしキャリア34年の講師による、心温まるひとときをお楽しみください。

●日時 12月14日(土)／▽第一部(幼児・低学年対象) 午後2時から

▽第二部(中学生以上) 午後3時20分から

※開場は30分前から

●会場 柿の木文庫(みさか)

●定員 30人

●参加料 無料 ※要申込

●申し込み・問い合わせ先 柿の木文庫 ☎3221

9617610

元気UP!メイク講座

気持ちがあっぴゅし、元気になる開運メイク講座を開催します。

●日時 12月19日(木)／①午後2時から

②午後6時30分から

●会場 マイタウン白河(本町)

●講師 週末手相家・開運アドバイザー 桜庭千春氏

●参加料 無料 ※講座終了後、無料メイク体験あり

NPPO法人しらかわ市民活動支援会 ☎7595

第36回チビッコ人形劇まつり

ボランティアによるお話や高校生バンドの演奏、着ぐるみ人形劇を行います。

●日時 12月21日(土)／午後2時～4時

●会場 市文化センター(中田)

●入場料 無料

ボランティアサークル劇団ポロポロ 片野 ☎4178

平成26年新春市民交歓会

希望に満ちた新年を迎えるにあたり、新春市民交歓会を開催します。

●日時 1月6日(月)／午後4時から(受付は午後3時30分から)

●会場 鹿島ガーデンヴィラ(北中川原)

※当日は、市役所本庁舎(午後3時30分発・商工会議所経由)、各庁舎(午後3時20分発)から会場までバスを運行しますので、ご利用ください。

●会費 2,000円

●申し込み・問い合わせ先 会費を添えて、12月25日(木)までに、お申し込みください。なお、当日会場でも申し込みができます。

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎秘書広報課 ☎2111 内2371

各庁舎総務課 表郷 ☎2111 大信 ☎2111

東 ☎2111 / 白河商工会議所 ☎3101 / 各商工会 表郷 ☎3065

大信 ☎2070 東 ☎2779

IN THE WIND

●日時 12月22日(日)／午後4時～5時

●日時 1月12日(日)／午後4時～4時40分

●会場 えきかふえSHIRAKAWA(郭内)

●入場料 無料

福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090114



市長の手裡え帖
白河市長 鈴木 和夫

「夜明けの歌」を口ずさみ

楽天の優勝で久し振りに東北が湧いた。しばらくプロ野球から遠ざかっていたが、決戦の日は釘づけになった。前日、不敗のEース田中で逆転負け。流れが変わったかと思われたが、被災地の切なる思いがのり移り完勝。今年は楽天でいいと思った。私はアンチ巨人でも大の楽天びいきでもない。ただ神宮を湧かした明治大のEース星野のファン。「東北の人を少しでも癒してあげたい、勝つことでしか喜びをあげられない」との監督の言葉は心にしみる。スポーツの力は大きい。

2020年のオリンピック決定は勿論うれしい。だが、もろ手をあげて喜べないのが偽らざる心境だ。めでたさも中ぐらいいというところ。沿岸部の復旧はこれからが本番。原発避難者の、帰還の見通しはたたない。中間貯蔵施設は、いつまでどこにつくるかも明示できていない。総理は状況はコントロールされていると公言したものの、汚染水処理は困難を極めている。出口の見えない中で、オリンピック熱に浮かれ、被災地が忘れ去られていくのではと不安になる。いや、忘れたがっているのでは、と疑ってしまう。県民は困難を乗り越え、世界のスポーツの祭典を楽しみたいと願っている。あと7年のうちに、廃炉への道筋をつけ、放射能の後遺症を取り除かなければならない。それには国が全面に出ること。県も福島全体の振興に向け本

来の役割を果たすことが求められている。

時代には気分のようなものがある。前回の五輪の頃は、どん底から復興に向かう高揚感があったという。田舎の中学生に実感はなかったが、その雰囲気は伝わってきた。新幹線や高速道路のことを耳にし、圧倒的なスピードや技術力に驚嘆した。誰もが成長や速さに将来の夢と希望をみた。時代の転換点になったのもこの頃だと思ふ。それはスポーツにも現れている。技の板若から大型の柏嶋へ。職人川上から天才長嶋へ。

歌謡曲にも変化が出てきた。それまでは三橋美智也「りんご村から」春日八郎「別れの一本杉」など故郷を懐かしみ、土のにおいのするものが多かった。やがて、都会の薫りや哀愁、青春の輝きを表現する歌が目につくようになった。先がけがザ・ピーナッツ。双子の抜群の歌唱力とリズム感にうっとりした。詞にも惹かれた。「ふりむかないで」恋のバカンスの「今ね靴下おしているのよ」や「裸で恋をしよう 人魚のように」は可愛いらしく、みずみずしい。「ウナ・セラ・ディ東京」の「街は いつでも 後ろ姿の 幸せばかり」は短い言葉で寂しい心の情景、ま

あれは高校2年の音楽の授業だった。今でもはつきり覚えている。若々しい相沢先生のピアノで加山雄三の「君といつまでも」を歌った。詞をながめ気恥ずかしかった。「幸せだなア 僕は君といつても君が 一番幸せなんだ」。特に印象的なのが「君はそよかぜに 髪を梳かせて やさしく この僕の しとねにしておくれ」。髪を梳かせて しとねにする。どんな意味だろ

うと頭をひねり、なるほどと感心した。詞の新しさと響きに吸い寄せられた。この作詞家は誰だろう。

岩谷時子。先頃97歳で亡くなった。宝塚で越路吹雪と出会いマネージャーになる。極度の緊張に震える越路を「あなたはトラ 何も怖くない」と励ましステージに送ったという。「愛の讃歌」「枯葉」などシャンソンの訳詞もつけた。ミュージカルにも活動の場を広げ、「王様と私」「レ・ミゼラブル」など名作を手がけた。

60年代に歌謡曲の世界に入った。岸洋子「夜明けの歌」はオリンピックの年の作。悲しみをのり越え這いあがる日本人の心象風景が、叙情的メロディののって見事に表現されている。「恋の季節」の「夜明けのコーヒィー ふたりに飲もうと」は流行語になった。フランク永井「おまえに」は夫婦の情を深く感動的に謳いあげ「ほんきかしら」で「泣き」の島倉千代子のイメージを陽に変えた。岩谷は生の喜び、生の輝きを詞にした。社会を切り取る目と豊かな感性で、新しいジャンルを確立した。楚々とした上品さの中に華があった。独身だったが「歌の中でたくさん恋をしたから もういいの」と屈託なく語った。とらわれない心で、夢とロマンを紡いでくれた岩谷先生に感謝したい。

長いこと日本は自信を持ってなかった。しかし、世界は安全・経済・文化面でまだまだ優れていると見ている。「夜明けのうたよ あたしの心に 若い力を 満たしておくれ」風ふるえる 緑の草原 たどる瞳かがやく 若き旅人よ。若い力を呼びおこし、輝く瞳で明日へ進んでいきたい。良い年をお迎えください。